

新型コロナウイルス感染症のスポーツ界への影響や スポーツ活動の再開に向けた取組等について

テーマ

0

スポーツ庁の役割



スポーツ庁の目的・役割

スポーツ庁

※シンボルマーク…「ス」や「人」をベース。太陽のオレンジは、スポーツの力強さや高い仲間意識を表す。

スポーツの意義、国の責務

「世界共通の人類の文化」であるスポーツを通じ、「国民が生涯にわたり心身ともに健康で文化的な生活を営むこと」ができる社会（「**スポーツ立国**」）の実現
【平成23年 スポーツ基本法制定】



関係府省の連携（教育、福祉、地域、観光、産業、外交など）により、スポーツに関する**施策を総合的に策定・実施**する必要性
【平成27年10月 文部科学省の外局としてスポーツ庁を設置、現在7課等・約120名の体制】

スポーツ庁の施策

地方公共団体やスポーツ団体等との連携・協働により、幅広くスポーツ振興策を推進

<主な施策>

- ・「スポーツ基本計画」の策定
（第2期：平成29～令和4年）
- ・指導者の養成
- ・施設の整備

- ・優秀な選手の育成
- ・国際競技大会の招致・開催
- ・科学的研究の推進
- ・健全性・高潔性の確保 など



スポーツが変える、未来を創る。 ※スポーツ庁のキャッチフレーズ

スポーツ庁組織機構図

定員120名(他省庁や民間から約30名程度の出向者。)

長官(鈴木 大地)

次長(藤江 陽子)

審議官(豊岡 宏規)

スポーツ総括官(牛尾 則文)

スポーツ審議会

(会長:早川 茂 トヨタ自動車代表取締役副会長)
スポーツの振興その他のスポーツに関する
施策の総合的な推進に関する重要事項

政策課 (課長:茂里 毅)

総括・管理業務、スポーツ審議会、スポーツ基本計画、日本スポーツ振興センター、武道の振興、国内外の動向調査、戦略的広報

学校体育室 (室長:伊藤 賢) 学校体育・運動部活動

健康スポーツ課 (課長:小沼 宏治)

国民へのスポーツの普及、予防医学の知見に基づくスポーツの普及、地域スポーツクラブの育成、子供の体力向上、スポーツの安全確保

障害者スポーツ振興室 (室長:助川 隆) 障害者スポーツの充実

競技スポーツ課 (課長:村尾 崇)

選手強化への支援(強化拠点・強化費)、医・科学を活用した競技力向上策の開発

国際課 (課長:糸川 泰一)

スポーツ国際戦略の総合的な推進、スポーツを通じた国際交流・協力、国際競技団体等における役員ポストの獲得支援、国際競技大会等の招致・開催への支援、ドーピング防止活動の推進

オリンピック・パラリンピック課 ※時限(2021年3月まで) (課長:勝又 正秀)

オリンピック・パラリンピックムーブメントの推進(Sport for Tomorrowの推進等)、2020年東京大会に向けたスポーツ団体等との調整

参事官(地域振興担当) (参事官:増井 国光)

スポーツをできる多様な場の創出(地域スポーツ施設の充実等)、スポーツを通じた地域おこしへの支援

参事官(民間スポーツ担当) (参事官:渡辺 隆史)

スポーツ団体のガバナンス改善、スポーツ選手のコンプライアンスの徹底、スポーツ人材・指導者の育成、スポーツ選手のキャリア形成支援、スポーツの成長産業化

テーマ

1

新型コロナウイルス感染症の スポーツ界への影響や状況

新型コロナウイルス感染症のスポーツ界への影響や状況（スポーツイベント）

プロスポーツイベント

- ・プロ野球セ・パ公式戦（3/20開幕予定）
→ 開幕を6/19に延期
※6/19に無観客試合で開幕し、7/10より有観客試合を再開
 - ・2020明治安田生命J1リーグ（2/21開幕）
→ 2/28以降の試合を7/4以降に延期
※7/4に無観客試合で再開し、7/10以降の試合より、
有観客試合を再開。
- 等

オリパラ関係イベント

- ・聖火リレー（3/26～予定）
→ 延期
 - ・オリンピック・パラリンピック
（7/24～予定）
→ 2021/7/23～に延期
- 等

部活動関係イベント

- ・全国高等学校総合体育大会（8/10～予定）
→ 夏季大会中止
 - ・全国高等学校野球選手権大会
（8/10～予定）
→ 中止
- 等

アマチュアスポーツイベント

- ・東京マラソン2020（3/1予定）
→ 一般参加の部のみ中止
 - ・国民体育大会・全国障害者スポーツ大会（9月・10月鹿児島予定）
→ 延期
- 等

新型コロナウイルス感染症のスポーツ界への影響や状況（競技力強化関連）

①国内外の競技大会等の中止・延期等

- ・本年2月以降、国内外で行われる多くの国際競技大会や合宿が中止・延期又は規模縮小。
- ・東京オリンピック・パラリンピック競技大会に向けても、代表選手の選考が影響を受けており、複数の競技団体において、既に内定を得ている選手の扱いや今後の選考の在り方を検討中。

②緊急事態宣言による競技力強化活動の制限

- ・緊急事態宣言の発令を受け、多くの運動施設の利用が困難に。
- ・トップアスリートの強化活動や医・科学支援の中核拠点である、東京都北区の「ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）」についても、4月8日より施設利用を休止（※）。
- ・東京大会を目指すアスリートも1か月以上自宅等で練習することを余儀なくされた。



ハイパフォーマンススポーツセンター（HPSC）
└─（左・中図）ナショナルトレーニングセンター（NTC）
└─（右図）国立スポーツ科学センター（JISS）

萩生田文部科学大臣、鈴木スポーツ庁長官とトップアスリートの意見交換（Web会議）（5月13日）

（※）なお、施設利用休止中においても、トレーニングに取り組むアスリートやコーチ等に対し、メンタル、栄養、コンディショニング等について、遠隔等のできるサポートや、屋外施設を活用し、アスリートの身体的なチェックやトレーニングへ移行する前の準備的な体作りに資する「段階的再開プログラム」を実施。

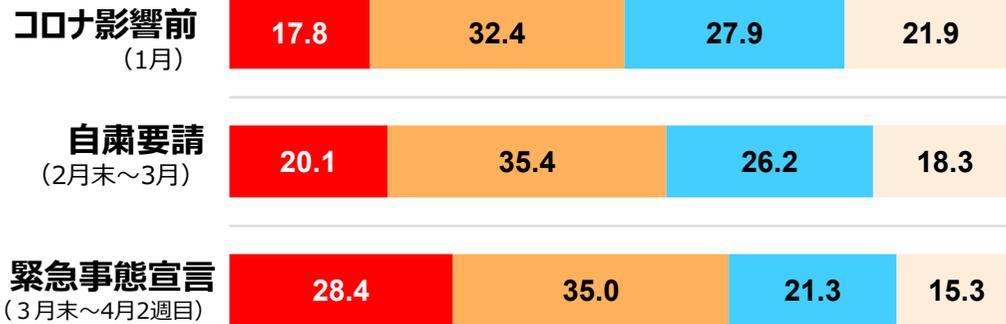
また、緊急事態解除宣言に伴い、5月27日より施設利用を再開。各競技団体は感染拡大防止のためのガイドラインを踏まえ、段階的に強化活動を再開している。

自粛生活による生活習慣の変化及び体への影響

歩数の変化

n=27018

■ 3000歩未満 ■ 3000～6000歩 ■ 6000～9000歩 ■ 9000歩以上 (%)

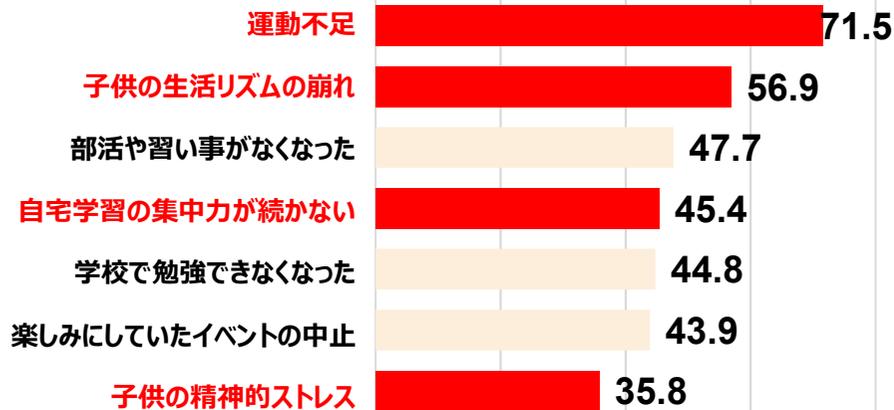


1日3,000歩未満の方が約3割に急増！

(株式会社リンクアンドコミュニケーション「新型コロナウイルス流行歌での生活習慣の変化」第2弾を基に作図)

休校中、困ったことや不安に感じたこと (複数回答)

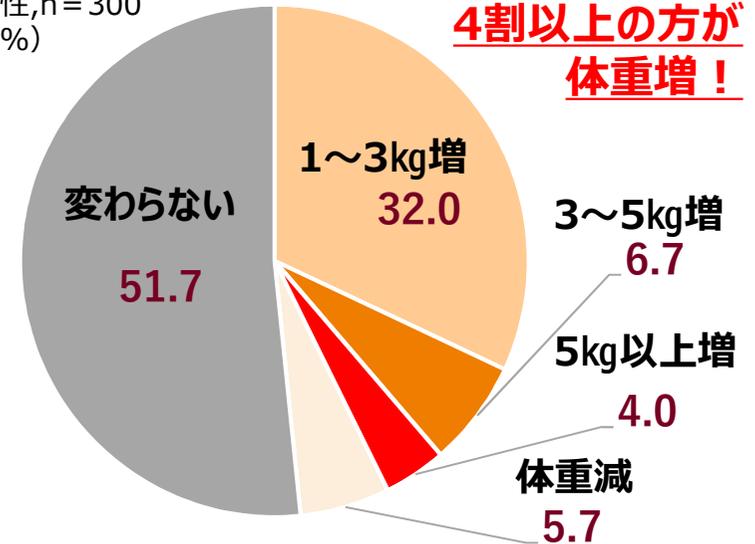
n=500 (%)



(やる気スイッチグループ調査「新型コロナウイルスの感染拡大防止のための学校の一斉休校期間中の過ごし方に関して」を基に作図)

体重の変化

女性, n=300 (%)



4割以上の方が体重増！

(株式会社サーティフィット インターネットリサーチ「新型コロナをきっかけに在宅時間が増えたと思いますが、体重の変化はありましたか？」を基に作図)

その他

- テレワークによる「肩こり・腰痛」「目の疲れ」等の不調の訴えが増加
- 座位時間が長くなることにより、血流の悪化や血栓ができるリスクが上昇

スポーツ・運動がもたらす効果について

- 自己免疫力の向上 感染に対する抵抗力
- ストレス解消 メンタルヘルスの改善
- 体重コントロール 生活習慣病の予防・改善
- 体力の維持・向上 筋力の維持・向上
- 血流の促進 腰痛・肩こりの改善 冷え性・便秘の解消
良好な睡眠

【特に子供】

- 発育期の健全な成長

【特に高齢者】

- 筋量・筋力の維持、転倒防止
- 認知症予防
- 食欲増進

コロナ禍の今こそ「スポーツの価値」を訴える必要

テーマ

2

活動自粛の下での様々な取組

全国の子供たちへの応援メッセージの配信

- ・日本スポーツ協会（JSPO）において、本年3月5日、全国の小中学校などが臨時休校を要請されている状況を踏まえ、ご家庭で過ごす時間が多くなる全国の子供と保護者の方に向けた応援メッセージを発信した。
- ・メッセージでは、子供の心と体の健康を保つことができるよう、感染予防と生活リズムを整えるための留意点や、家の中でも親子でできる運動遊びが紹介されている。

1 新型コロナウイルスにかからないよう、毎日の生活リズムを整えましょう!

(1) こまめに、手洗い、うがいと体温の検定の入れ換えをしましょう。
 (2) 学校はお休みの日だけ、早寝早起きをしましょう。
 (3) 食事は腸風、血行を良くしましょう。また、おやつを食べすぎに注意しましょう。
 (4) 困ったことがあれば、すぐに学校の先生や保護者に相談しましょう。

2 おうちで親子でできる運動遊びに取り組み、体を動かしましょう!

(1) 原の平でも、ずきりした長草で遊ぶため、体を動かしましょう。
 (2) お友だちと一緒にスポーツをしたいけれど、お友だちがいないので、たくさんのお友だちが来る場所へ行くことを考えましょう。

日本スポーツ協会から全国の子供たちへの応援メッセージ
毎日体を動かして元気になるろう!

みなさんご存じの通り、新型コロナウイルスという病気はやっています。この新型コロナウイルスに感染しないよう、みなさんにもできることがあります。それは、心と体を健康に保つことです。そのためには、毎日の生活リズムを整え、しっかりと体を動かすことが大切です。

JSPO ACP

JSPO
 日本スポーツ協会
 会長 伊藤 泰俊

← **親子で、家の中で遊んでみよう** →

アスリートによるメッセージ動画の配信

○ JOCアスリート委員会による「#いまスポーツにできること」プロジェクト

- ・日本オリンピック委員会（JOC）アスリート委員会において、4月17日（※5月6日までの約3週間の施策）、全競技のアスリートに対し、**SNSを通じて、スポーツ界全体から社会に対して感染拡大防止や医療関係者への感謝等をメッセージ発信すること**を呼びかけた。
- ・プロジェクトには、羽生結弦選手（男子フィギュアスケート）、桃田賢斗選手（男子バドミントン）、川澄奈穂美選手（女子サッカー）、三宅宏実選手（女子ウエイトリフティング）をはじめ、パラリンピアンを含めた**多くのアスリートに賛同**いただき、**国連本部のウェブサイトでも紹介**された。



いま私たちにできることは、外出を控えて自らが感染しないこと。
今回は、家でできるエクササイズを紹介します！
お時間ある方は是非やってみてください😊
スポーツの力を信じてます。

#いまスポーツにできること
#SportsAssistYou #Staystrong
#Stayhome 🏠 #stayhealthy



三井梨紗子（アーティスティックスイミング）氏
Twitterより

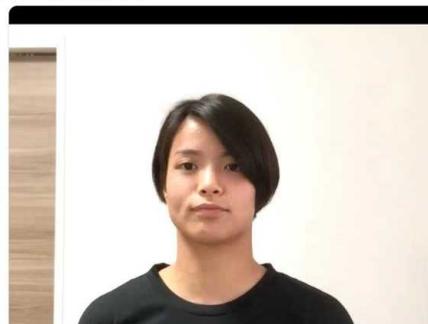
- ①Stay healthy：家でも楽しめるトレーニング、食事（栄養）、リフレッシュ、競技雑学など、自分の得意内容を投稿



今、自分たちにできることや思いをメッセージにさせていただきました。

[instagram.com/tv/B_mJ0z5BcBa...](https://www.instagram.com/tv/B_mJ0z5BcBa...)

#いまスポーツにできること
#SportsAssistYou
#Thanks 🙏
#StayHome 🏠



阿部詩（柔道）選手 Twitterより

- ②Thanks：日頃応援を受けているスポーツ界から、最前線の医療関係者をはじめ、多くの方々に感謝&応援メッセージ



桃田賢斗 @momota_kento - 4月17日
各自の意識。それにより今から変わる事ができます。

#いまスポーツにできること #SportsAssistYou #Staystrong #Stayhome 🏠 #バドミントン #桃田賢斗 #つなぐ



桃田賢斗（バドミントン）選手 Twitterより

- ③Stayhome：感染拡大防止のために、「外出しないこと、三密を避けること、手洗いうがい」を呼びかけるメッセージ

外出自粛の下でのスポーツによる心身の健康保持

安全に運動・スポーツをするポイントの周知

① 自宅で行える運動・スポーツの紹介

主に中高年齢者を対象とした体操等

② 安全に屋外で運動・スポーツを行う場合に配慮いただきたいポイント (右図)

日本医師会ほかの専門家の協力を得て作成

安全に運動・スポーツをするポイント Ver.2

体調をチェック

- 平熱を超える発熱
- 咳、のどの痛みなど風邪の症状
- だるさ、息苦しさ
- 嗅覚や味覚の異常
- 体が重く感じる、疲れやすい等

感染防止の3つの基本

- 十分な距離の確保
- マスクの着用
- 手洗い・手指消毒

※ 手に触ったまま手や顔を触る、できるだけすぐにシャワーを浴びて、着替える。

熱中症の予防 ! 暑くなる日は要注意!

こまめな水分・塩分の補給、休憩の確保、風通しの良い服装や帽子、扇風機の使用等を行います。また、夕方以降は気温が急激に下がると、水分補給が足りず、体調がすぐれないことが多いため注意してください。また、マスクをしている際の運動・スポーツをすると、呼吸が上がりやすいため、マスクをはずすと調整をしてください。暑さを感じた時はすぐに休むことや休憩を取る等、無理をしないでください。

運動・スポーツの種類ごとの留意点

×密閉 ×密集 ×密接 三つの密のいずれも、一つでも該当しないように注意しましょう。

- ウォーキング・ジョギング
 - ① 一人又は少人数で実施
 - ② すいた時間、場所を選ぶ
 - ③ 他の人との距離を確保
 - ④ すれ違う時は距離をとる
- 筋トレ・ヨガ
 - ① 自宅で動画を活用
 - ② こまめに換気

運動不足(身体的不活動)は健康に悪影響を及ぼします。安全な環境を確保して適度に運動・スポーツを行うよう心がけてください。高齢者や基礎疾患などの方は、かかりつけ医に相談してください。

※ 本資料は公益財団法人日本医師会の協力を得て作成しました。(2020.8.27)

家庭など屋内でも実施可能な運動遊びやスポーツメニューの情報提供

子供の学び応援サイト(文科省HP)・子供の運動あそび応援サイト(スポーツ庁HP)内で紹介

○ **マイスポーツメニュー**
(スポーツ庁)



○ **女性スポーツ促進キャンペーン**
オリジナルダンス「Like a Parade」
(スポーツ庁)



○ **やってみよう運動遊び**
((公財)日本レクリエーション協会)



テーマ

3

スポーツ活動の再開に向けて

スポーツを 未来につなぐ



スポーツ関係者向け支援策パッケージ
(第2次補正予算の取組等を追加)

NEW

スポーツ団体又はフリーランスの
**活動継続に向けた取組に対する
新たな支援事業を創設**

NEW

全国規模のスポーツイベントの
**感染症防止対策のための人件費、
会場費等の経費支援**

NEW

中学・高校において中止となった
**部活動全国大会の
代替地方大会の開催支援**



スポーツの価値を
再び実感する社会へ

TARGET



スポーツの持つ力や
素晴らしさが
社会の活力に
つながるよう、
安全と安心の下に
我が国に
スポーツを取り戻
す。



雇用維持・事業継続
支援

STEP. 1

放棄したチケットの払戻請求額分
を寄附金控除の対象とする税制改正
スポーツ団体に対しスポンサー企業
が行う復旧支援に係る**税務上の
取扱いの明確化**

◆政府全体の支援策

- 金融公庫等による緊急貸付・保証枠の
拡充
- 雇用調整助成金の特例措置の大幅な拡充
- 緊急小口資金の特例貸付
- 事業者や個人向けの**新たな給付金制度の
創設** (持続化給付金、特別定額給付金 等)

◆地方公共団体による
**新型コロナウイルス感染症対応
地方創生臨時交付金の活用**

安全・安心な環境
における再開等の支援

STEP. 2

スポーツイベントの感染症拡大
防止対策 (サーモメーター、
消毒用アルコール等) の経費支援

公立社会体育施設に対する
換気扇・ファン・空気調和設備の
整備のための改修

トップアスリートが安全・安心に
利用できるようにするための
ハイパフォーマンススポーツ
センターの空調設備更新等の
感染症予防対策・相談体制の強化

感染拡大予防ガイドライン等を
国・各団体等において、作成・公表

スポーツへの関心と熱意の
盛り上げ支援

STEP. 3

スポーツイベントの継続的な
顧客獲得のための**広報経費の支援**

スポーツによる**地域活性化・
交流イベントの開催経費の支援**

イベント・エンターテインメント
事業を対象に、一定期間、
官民一体型の消費喚起キャンペーン
を実施
(イベント・エンターテインメントのチ
ケットを購入した消費者に対し、割引・
ポイント・クーポン券等の付与等)

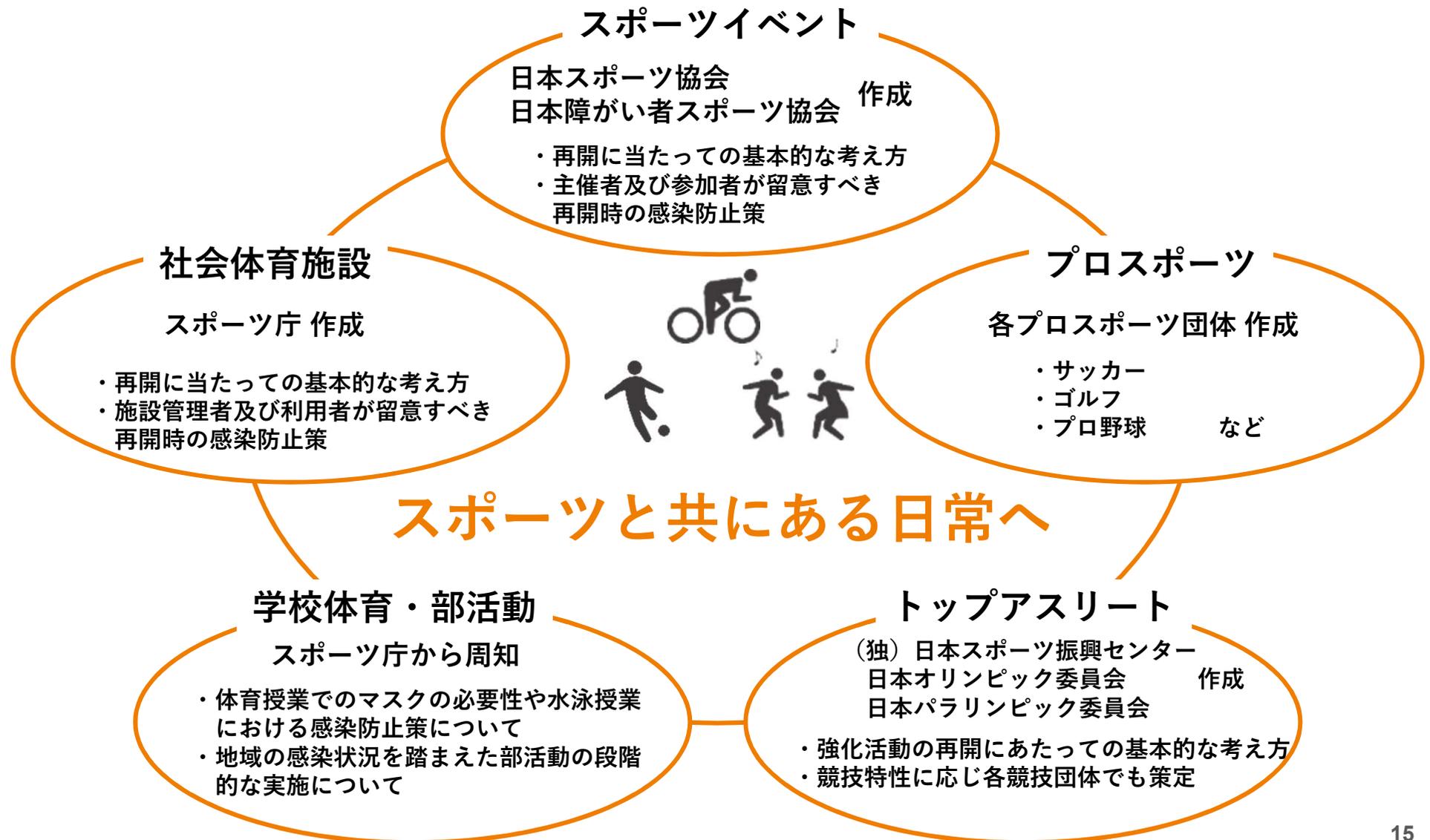
イベント自粛や一斉休校による
子供の運動不足解消のための
運動機会創出プランの実施や
コンテンツの情報提供

- 想定される
事業例
- ✓ スポーツイベントの再開・開催準備支援
 - ✓ 地域のスポーツクラブやチーム、施設等の活動継続・再開支援
 - ✓ 観客制限など自粛要請に応じたスポーツ関係者への協力金
 - ✓ 部活動大会のキャンセル代等の支援、代替大会開催等の支援
 - ✓ スポーツ施設における感染症拡大防止
 - ✓ 公立社会体育施設における使用料の減免

スポーツ活動の再開に向けた感染症対策ガイドラインの策定

スポーツを安全・安心に再開するためには感染拡大防止に万全を期す必要

→ スポーツ庁と関係団体が協力して感染症対策ガイドラインを作成





今後に向けて

日本医師会からの提言書を手交

日本医師会 横倉会長（当時）・長島常任理事より
「運動・健康スポーツ施策に関する提言書」を受け取り

2020.6.11



「人生100年時代、運動・スポーツが必要不可欠。医師が関わることで、高齢者や疾患を持った方などもリスクに合わせた適切なスポーツができるようになる。医療とスポーツの連携強化が重要。」

（提言書の一部要約）

日本学術会議から回答・提言を手交

日本学術会議 山極会長・渡辺副会長より
科学的エビデンスに基づく「スポーツの価値」の普及の在り方に関する
回答及び提言を受け取り

2020.6.18



- ・ 「生涯を通じたスポーツ実践は、医療費抑制を含む社会全体の便益にも寄与する。」
- ・ 「計測と解析による科学的エビデンスに立脚した練習やコーチングの推進がスポーツにおける暴力の最小化にも貢献する。」
(回答・提言の一部要約)



スポーツで「未来」を創る！



「スポーツ立国」

自発的にスポーツに取り組み自己実現を図り、
前向きで活力ある社会と絆の強い世界を創る。

